

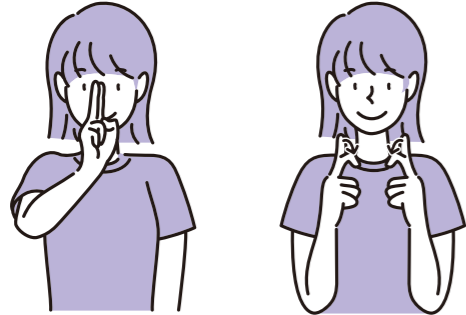
Let's learn sign language



しゅわ 手話をおぼえよう！

みぢか おぼ せつきよくてき しゅわ つか 身近なものから覚えて、積極的に手話を使ってみましょう

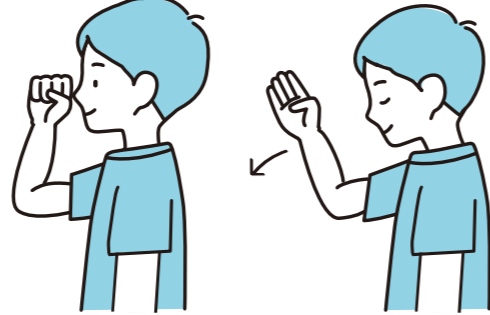
こんにちは



ひとさ ゆび なかゆび た
人差し指と中指を立て、
ひたい あ 額に当てる。

りょうて ひとさ ゆび
両手の人差し指を
むきあ 向かい合わせて曲げる。

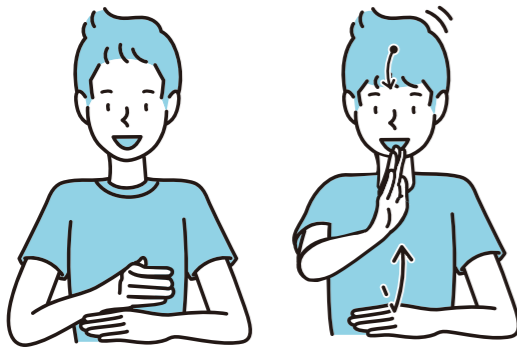
よろしくお願いします



みぎて
右手のこぶしを
はな 鼻にあてる。

ゆび そろ
指を揃えて
ひら まえ 開きながら前に出す。

ありがとう



ひだりて こう みぎて の
左手の甲に右手を乗せ、右手を上げながら頭を下げる。

おつかれさま



みぎて つく
右手でこぶしを作って、
ひだりて てくび 左手の手首のところをトントンと2回たたく。

しゅわ まな かた か き と あ 手話を学びたい方は下記へお問い合わせください。

しゅわほうしんようせいこうざ かくしちょうそん と あ
「手話奉仕員養成講座」▶▶▶ 各市町村へお問い合わせください

しゅわつうやくしゃ ようやくひつきしゃ ようせいこうざ しゅわ
「手話通訳者、要約筆記者の養成講座」「手話サークル」

やまなしけんりつちようかくしやうがいしゃじやうほう
▶▶▶ 山梨県立聴覚障害者情報センター ☎055-254-8660 📠055-254-8665
〒400-0005 やまなしけんこうふしたしん やまなしけんふくし
山梨県甲府市北新1-2-12 山梨県福祉プラザ1F

き かた き かた しゃかいさんかそくしん
聞こえない方、聞こえにくい方の社会参加促進のためには、

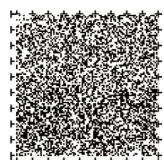
しゅわつうやくしゃ ようやくひつきしゃ ひつよう
手話通訳者や要約筆記者が必要です。

はけん もう こ かくしちょうそん やまなしけんりつちようかくしやうがいしゃじやうほう
派遣の申し込みは、各市町村もしくは山梨県立聴覚障害者情報センターまで

やまなしけんふくしほけんぶしょうがいふくしか 山梨県福祉保健部障害福祉課

☎055-223-1460 📠055-223-1464

Email:shogai-fks@pref.yamanashi.lg.jp



おんせい 音声コードUni-Voice



やまなし



しゅわ 手話で つながろう

Let's connect with sign language

やまなしけん
山梨県

しゅわげんごじやうれい
手話言語条例



すべ けんみん しゅわげんご たい りかい ふか
全ての県民が、手話言語に対する理解を深め、

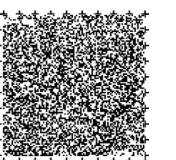
しょうがい ひと ひと
障害のある人もない人も、

しゃかい こうせい たいとう いちいん
社会を構成する対等な一員として、

あんしん く きやうせいしゃかい じつげん めざ
安心して暮らすことのできる共生社会の実現を目指して

やまなしけんしゅわげんごじやうれい せいいてい
「山梨県手話言語条例」を制定しました。

れいわ ねん がつ にち しこう
令和5年3月24日施行



おんせい 音声コードUni-Voice

9月 23日



ぜんこくはつ 全国初!

「やまなし手話言語の日」

Yamanashi Sign Language Day

山梨県では、山梨県手話言語条例第9条で、県民の間に広く手話言語についての理解と関心を深めるようにするため「やまなし手話言語の日」を設けました。条例で手話言語の日を定めたのは全国で初めての事です。

※9月23日は「手話言語の国際デー」でもあります。2017年12月19日に国連総会で決議されました。



知ってほしい!

聴覚障害のこと I want you to know! Hearing impairment

01 聴覚障害とは?

音が全く聞こえなかったり、話し言葉や小さい音が聞こえない、聞こえづらい状態です。



02 ろう者とは?

聴覚に障害があり、手話を使って生活する人です。 ※ろう児:聴覚に障害がある幼児、児童及び生徒

03 手話とは?

ろう者の言語です。手や指の動き、顔の表情などを使って、自分の気持ちを伝えることができる独自の文法体系を持つ言語です。



山梨県手話言語条例ってな~に?

What is the Yamanashi Sign Language Ordinance?

手話が言語であることをみんなで理解し、県、県民、事業者、それぞれの役割の中で、手話の使いやすい環境をつくり、障害の有無に関わらず、社会を構成する対等な一員として誰もが安心して暮らすことのできる共生社会の実現を目指すために定められた条例です。

県の役割

手話言語への理解を促進し、手話を使いやすい環境を整備するためにさまざまな施策を推進します。

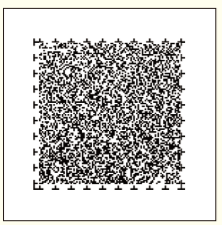
- 手話言語を使った県政に関する情報発信
- 県民の手話言語に対する理解の促進
- 手話言語通訳者等の確保や養成等
- ろう児等が通学する学校等での手話言語を学ぶ機会の提供や保護者からの教育に関する相談への対応支援

県民の役割

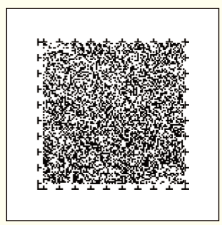
- 手話言語への理解とともに、県が実施する手話言語に関する施策に協力

事業者の役割

- 県が実施する手話言語に関する施策に協力
- ろう者が利用しやすいサービスの提供やろう者が働きやすい環境の整備



音声コードUni-Voice



音声コードUni-Voice

手話言語の歴史

History of Sign Languages



明治時代から、ろう者の間で大切に受け継がれ発展してきた手話。しかし、明治13年に開催されたイタリア・ミラノの国際会議にて、「ろう教育では読唇と口話を教えること」が決議され、昭和8年の文部大臣の訓示により、ろう学校では口話教育が中心になり、手話に触れる機会が少なくなっていました。

その後、平成18年に国連総会で採択された障害者の権利に関する条約において、言語には、手話、その他の非音声言語を含むことが明記され、平成23年に改正された障害者基本法の中でも、手話が言語であることが明記されました。

Trouble with not being able to hear

聞こえないことで困ること

01



外見で障害がわからない

後ろからの呼びかけは聞こえないことがあります。正面から口を大きく開けて話しかけましょう。また、中途失聴の人には話せる人が多いため、「あいさつしたのに無視された」などと誤解されることがあります。

02



音の情報がわからない

火災報知器や車のクラクション、交通機関のアナウンスなど、生活に必要な音声や音が聞こえないことがあります。避難や危険回避が難しい場合もあるため、周囲の人の声かけが必要です。

03



複数の人と同時に会話するのが難しい

複数の人が同時に話すと、相手の口の動きや表情が見られず、話の内容が理解できなくなることがあります。相手から見やすい場所で順番にゆっくりと会話をするようにしましょう。